

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



歯科口腔外科

歯科口腔外科
口腔統括局長

やな がわ

とおる

柳川

徹

(前列真ん中)

茨城県立中央病院歯科口腔外科は2017年に開設され、2018年には高度な口腔外科技術で地域に貢献するため筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センターとして活動を開始しました。主として口腔顎顔面外科疾患の治療や周術期口腔機能管理を中心に行っています。口腔顎顔面外科(Oral and Maxillofacial Surgery)は、口腔および顔面の疾患や障害を治療する外科的専門分野で西欧の先進国では医科と歯科両方の免許を持つDual Degree(日本ではダブルライセンスと呼ばれる)医師が中心となって行う診療分野ですが、日本ではダブルライセンスの口腔外科医はほとんどいなくなりました。当科では日本でも数少ないダブルライセンスの口腔外科医が中心となって診療に当たっています。

診療内容は、一般的な埋伏智歯の抜歯、嚢胞や腫瘍の切除、顎顔面外傷、口腔がんの手術、顎変形症の顎矯正手術、歯科インプラント、顎顔面インプラント治療などがあります。また、歯科医院で困難な併存症を有する患者さんの抜歯や歯科治療を行っています。

口腔がんは舌、口腔底、歯槽、口蓋、唇などに発生するがんで、全がんの1%に過ぎませんが進行は早く、顔貌や摂食機能に影響することから重要度の高いがんです。早期に治療すれば高い確率で治癒しますが、進行すると死亡につながるリスクが高いため注意が必要です。当病院では、耳鼻咽喉科頭頸部外科、形成外科、放射線治療科、腫瘍内科などの協力を得て手術、化学療法、放射線療法など、最新の治療法を行っています。また術後には摂食嚥下チームの協力を得て機能回復を行っています。

一方、病院全科にわたる悪性腫瘍や循環器疾患などの手術、放射線療法、化学療法の患者さんには周術期等口腔機能管理を行っています。周術期等口腔機能管理とは、手術の前後に口腔内の衛生状態を管理することによって、誤嚥性肺炎や創部感染の防止、放射線療法、化学療法の口内炎の軽減、などの効果があります。これらは、地元の歯科医師会と連携を取って行っております。

今後も地域の方々に信頼される病院として質の高い口腔の医療を提供していきたいと考えています。